

提供日 2018/07/20
タイトル 感染症「ヘルパンギーナ」が流行しています！（警報レベル）
担当 健康福祉部 医療健康局疾病対策課
連絡先 感染症対策班
TEL 054-221-2441



- 危機管理情報 -

「ヘルパンギーナ」が流行しています！（警報レベル）

1 要旨

夏かぜの一種「ヘルパンギーナ」は、発熱、口腔粘膜の水疱性発疹を特徴とした、コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる急性ウイルス性咽頭炎で、主に5歳以下の乳幼児が感染します。一般的に夏季に流行する傾向があり、感染症発生動向調査によると、第28週(7/9～7/15)の定点当たりの患者数は静岡県全体で、7.47人となり、「**警報レベル**」（基準値6）を超えました。今後、さらに流行が拡大する可能性も考えられますので、感染予防に努めましょう。

1.80	3.96	7.47
(6/25～7/1)	(7/2～7/8)	(7/9～7/15)

定点当たりの患者数：県内の定点小児科（89機関）の1医療機関当たりの1週間の患者数

2 症状等

- 潜伏期は2～4日で、発熱（38以上の高熱）、咽頭痛、口腔粘膜の発疹が主症状です。
- 主に乳幼児が感染し、口腔内の疼痛を伴うため、食欲低下、それに伴う脱水を呈することがあります。
- 一般的に1～3日程度で熱が下がり、予後は良好です。

3 予防

- 口からの飛沫感染、便からの経口感染、水疱からの接触感染などがありますので、手洗いを励行するとともに、排泄物を適切に処理することが大切です。
ウイルスの便への排出は、治癒後も2～4週間続きます。
- 口内に病変がある場合には、飲食に痛みを伴い、食欲不振となることがあります。刺激を避けるため、軟らかめで薄味の食事にしたたり、少量ずつでも食べる等、水分補給、栄養補給に努めましょう。

4 もし、症状が現れた場合

発熱、口腔内の発疹、ノドの痛み等の症状が現れ、水分摂取が低下したら、早めにお近くの医療機関を受診してください。

【ヘルパンギーナに関する情報】

- 厚生労働省ホームページ（わかりやすい感染症Q&A）
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou16/01.html>
- 国立感染症研究所ホームページ（ヘルパンギーナとは）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/herpangina/392-encyclopedia/515-herpangina.html>